

まちづくりに関する活動や近況など西川町長・菅野大志が綴ります。



まちづくりに関する活動や近況などを西川町長・菅野大志が綴ります。

よいよ冬本番！今冬の雪が気になる季節となりました。

町が実施した8月のアンケートでは、優先してほしい政策は「除雪」、満足度が高い事業も「除雪」でした。先日、除雪車の出動式が行われました。除雪作業員の皆さまは、西川町のエッセンシャルワーカー（私たちの生活を維持するために現場で働き続けなくてはならない方々）です！今冬もぜひ満足度の高い除雪作業を期待しています！3月までの長丁場で、さらに早朝、時には深夜の作業となりますので、健康に気を付けて、西川のためによりしくお願いします。



1・8億円を国から獲得し32名の雇用創出！

西川の財政を考えると、国のアイデア勝負の交付金から獲得する必要があります。今年は、職員の頑張りに加え、町内外での官民連携で実効性の高い事業を提案することができ、おかげさまで全勝（昨年0戦）となりました。新しい12事業が生まれましたが、これを実施するのは、役場ではなく、町内外の民間の企業です。アイデア勝負に勝ち抜き、雇用を確保したことで、西川町で働き、移住していただいた方がおります。

これからも、多様な方々と対話しアイデアを磨き、補助を核として雇用を生み出すことを繰り返していきます。

町の予算を使わずに月山志津温泉の廃屋を解体！

十数年放置されていた月山志津温泉の廃屋は、11月に解体されました。公平性の観点から、廃屋解体に町のお金を使うことは難しく、解決の難しい事業です。

廃屋解体の唯一の補助金である観光庁の補助事業は、競争率が高いだけでなく、温泉宿の改修を5軒以上取りまとめなくてはならない調整力が試される補助金です。これに商工観光課柴田知弘課長補佐が短期間で粘り強く取り組み、結果、採択を受け、1億円の補助金とともに、解体費の半額を得ました。解体費の残り半額は、各方面に助けを求め、連携協定先の東武トップツアーズ（株）と（株）ローヤルエンジニアリングから企業版ふるさと納税を使った寄附をいただきました。

これにより、温泉街の景観が改善され、かわどい亭さんやドリームクラブさんなど町内のボランティアの方や、地域おこし協力隊のCASEさんが大活躍！参加者は西川の魅力を知り、ボランティアの皆さまも楽しく取り組んでいただきました。鈴木佑子さんの料理と、ゆずりはの会の月山なんぼ、岩根沢の三山神社が大好評！今後は、西川ファン獲得に向け、国の補助を得て、5年間で10回開催する予定です。これを継続して、西川ファンが定期的に集い、町民の皆さまとふれあい、私たちは西川の魅力に自信を深め、参加者は新たな人・魅力を知ってさらにコアな西川ファンとなるような事業にしていきたいです。



れ、西川への修学旅行向け旅行商品が生まれることにつながりそうです。

山菜（園地栽培）の安定供給に向けた事業を始めました！

西川町では、山菜の供給量が年々少なくなっています。原因は後継者不在。月山筍園地は管理が行き届かず、つるが張ってくる園地を見て心が痛むようになりました。

そこで、園地管理が難しい方に担い手を当て、園地を管理し山菜王国を維持しつつ、インターネットで販売を可能にして首都圏の販路先を開拓する事業を、商工観光課工藤文昭係長（当時）と企画。見事、農林水産部から実証事業（全額補助）の認定を受けました。

また、役場内で山菜と言えば、健康福祉課古沢一美課長補佐。早速、町内から手伝ってくれそうな方々と総合開発社員と共に、古沢課長補佐の指導を受け、岩根沢、小山、入間の、竹の間伐作業を実施。本来は、雪が降



る前に行うべきところですが、国の事業開始判定は11月下旬でしたので、雪の中の作業に。スタッフのほとんどは、間伐作業の未経験者でしたが、日光の入る園地となり達成感を味わいました。



ONSENガストロノミー（食べ歩きウォーク）お疲れさまでした！

11月19日・20日、今、全国で人気の食べ歩きツアーを西川町でも開催しました。参加者は、首都圏や香川県からの参加者もあり約100名。「もっといい季節にしたいいいべ」という声をいただきましたが、これも実証事業認定（8割が国補助）が9月初旬でしたので。

このイベントでは、月山朝日観光協会を中

ふるさと納税2億円を目指して！



今、役場の政策目標は、マイナンバー申請率75%以上と、ふるさと納税が2億円の2つ。後者は、12月が勝負の時！担当の商工観光課佐藤大陽さん、先月総合開発に入社した伊藤洋平さん、つなぐ課準備室の大泉聡さんを中心にさまざまなことにチャレンジ！私も、時間がある限り広報を頑張ります。

最後に

11月も5回の対話会を開催しましたが、入間地区では、木質バイオマス発電を使ったハウス園芸（次世代型農業）への挑戦に関する対話会でした。私と、産業振興課工藤信彦課長、鈴木雄太係長の言葉を信じていただき、概ね賛同していただけたのは、とても嬉しかったです。成功すれば、全国の実例となるほか、地区の地域課題解決の一助にもなりますので、地域と一体となって進めてまいります。

12月もクラウドファンディングの講師役、ご要望のあった地区での語る会の開催、12月8日19時からのバスストップに関する対話会など、皆さまとお会いできることを楽しみにしていきます！



ご登録をお願いします！



▲町公式LINE



▲オープンチャット